

## 平成27年度 米子工業高等学校 第三者評価 評価書

### 【講評】

米子工業高校は、地域社会・産業界に貢献する人材の育成をミッションと位置づけ、自主・自立の精神を持ち創造力豊かな他者を思いやる人間を目指すことを生徒像の目標としている。本校は、そのミッションと生徒像に違わぬ教育を実践し、有為の若者を排出し続けており、非常に良い状態にあるといえる。

特に進路指導においては優れた実績を残しているが、その根底には教職員が一体となった愛情ある教育があり、かつ共通の目標に向かった日々の地道な活動があると考えられる。

以下は、委員会として評価し、今後も継続・発展していただきたい主な事項である。

- ① 社会に貢献できる専門家を育てるという明確な目標があり、その目標に向かって全教職員一丸となった教育活動が実践されている。教職員の連携や良い人間関係も効果的である。
- ② キャリア教育による進路の実現が優れている。特に、生徒の第一志望に高い割合で就職させている点、離職率が格段に低い点は、評価に値する。背景には、キャリアアドバイザーの努力、卒業生の声、受験経験者の声等の収集・共有といった優れた工夫があると考えられる。また、卒業生は本校への帰属意識が高い。
- ③ 学校のミッションに整合したテクノボランティアやごみストッカーの製作は、専門技術の追究という観点のみならず地域貢献にも効果があり、優れた取組といえる。
- ④ 学科の特性にあった「5S」（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）を徹底するとともに、それに加えてマナーやエチケットの徹底にも力が注がれ、社会人への準備がなされている。
- ⑤ SHRでの1分間スピーチは有効である。今後さらに強化していただきたい。

一方、以下は、今後改善していただきたい主な事項である。

- ① 学習面の理解・定着を一層図るために、公開授業や研究授業をさらに充実させていきたい。
- ② 特別支援教育の充実に関連し、手話教育の推進が不十分なので、その充実を図っていただきたい。
- ③ 時間外勤務については教職員間のばらつきが見られるので、教育委員会と連携しつつその改善に努めていただきたい。
- ④ 女子生徒が少ないことはやむを得ないとしても、少数の女子が満足して勉学に励むことができる環境づくりに努めていただきたい。
- ⑤ 遅刻の減少や整理整頓については、寛容になることなく、ミッションに謳われた人材に近づけるべく更なる努力をお願いしたい。